

省エネで経済的な運用を実現！ 運用改善でランニングコストを効果的に削減しましょう。

✓ 熱損失を軽減していますか？

- 蒸気系統の熱損失は20～30%に及ぶといわれています。
- ▶ 蒸気トラップの点検保守を行う。
 - ▶ 配管系(蒸気バルブ、伸縮継手、フランジ等)の断熱を強化する。
 - ▶ 蒸気の不要な系統はヘッダーの出口でバルブを閉める。

✓ 空気比の管理をしていますか？

空気比を適正にすることで排ガス損失が低減されます。排ガス中酸素濃度6%(空気比1.35)を3%(空気比1.2)に調整した場合に燃料が約4%節約できることになります。



燃焼設備に供給される燃焼空気量を減らすと省エネになります

燃焼時の空気量が必要以上に多いと、ムダにエネルギーを消費します。排ガス酸素濃度を確認しながら、燃焼空気量を低減することで省エネになります。

引用：経済産業省関東経済産業局ウェブサイト

✓ 設定圧力は適正していますか？

ボイラーの運転圧力が0.1Mpa変わることにより効率は約0.16%変わるといわれています。減圧弁を介さず蒸気を使用している機器がある場合、貫流ボイラーである場合は慎重な検討が必要ですので、専門家への依頼が必要です。

【ボイラー効率の向上】

- ▶ ボイラー効率は、ボイラーの性能そのものを表します。
- ▶ 新設や更新時にできるだけ高効率なものを選定しましょう。
- ▶ また、ボイラー効率を向上させるため、「燃料の供給量」「燃焼に伴う排ガスの温度」「排ガス中の残存酸素量」を記録し、メーカーと相談してみましょう。

例えば...



case1.
プラスチック製品製造業
従業員数約20名

対象設備: 蒸気ボイラー1台(4t/h) 省エネ効果: A重油13.4kL/年の削減



コスト削減額

年間 **81万円削減**

※端数切捨て

◆設備投資は、ランニングコストの削減につながります◆

蒸気配管を保温すると省エネになります

例えば...



case2.
化学薬品製造業
従業員数約40名

対象設備: 小型貫流ボイラー2t/h
省エネ効果: A重油 153kL/年の削減



コスト削減額

投資額373万円(回収0.4年)

年間 **933万円削減**

※端数切捨て

補助金

(省エネルギー投資促進支援事業費補助金(Ⅲ)設備単位型)

・SIIが予め定めたエネルギー消費効率等の基準を満たし、補助対象設備として登録及び公表した指定設備へ更新する事業

公募スケジュール

- ・1次公募 : 2024年3月27日(水)～2024年4月22日(月)、交付決定: 2024年6月上旬(予定)
 - ・2次公募 : 2024年5月下旬～6月下旬(予定)、交付決定: 8月下旬(予定)
 - ・補助対象経費: 設備費のみ 補助率1/3以内 補助金限度額 上限額1億円/事業全体 下限額30万円/事業全体
 - ・事業期間 : 交付決定日から2025年1月31日(金)まで
- ※複数年度事業は、交付決定日から2026年1月30日(金)まで